

★輝く high school★
ちよっとおじゃまして～す！

— 清水高等学校 —

— 校訓 —
自由 平等 博愛 寛容



清水高校キャラクター「し〜くん」

令和6年度中には、校舎を高台移転する予定です。清水中学校と隣り合わせとなり、これまで以上に中高一貫教育を充実させ、土佐清水の教育を高めます。



これが、高台へ移転した未来の学び舎です。太平洋を望む新校舎で、のびのびと学び、やがて地域の将来を担える人材づくりを目指します。

<21世紀ジョン万ビジョン> 世界を伝えた偉人の故郷から、新たな時代の国際人を！

今という時代は幕末に似ています。グローバル化の拡大と Society5.0 に象徴される技術革新、多様性の拡大、パンデミックなど、私たちはこれまでの価値観を大きく転換する必要性に迫られています。科学技術のさらなる進化によって、生活はますます便利に。しかし、AI が加速的に進展する一方で「やさしさ」や「しなやかさ」など、人間的な感性の大切さも貴ばれています。**これからの世界で求められるのは「21世紀のジョン万」です。**ジョン万は問題解決能力とコミュニケーション能力に優れ、厳しい環境下でもより良い明日を信じて行動し、未来を切り開きました。**みなさんはこれから、何にでもなれる可能性を秘めています。**激動の時代を主体的に生きる力を磨いてください。**清水高校は、個性輝く「21世紀のジョン万」を育成していきます。**



<こんなこともやっています！>
台湾の高校生、大学生ともオンラインで交流を深めています。お互いの学校の様子、食べ物や趣味について、**英語で会話しています。**積極的な国際交流や国際理解教育で、英語力の向上につなげています。

清水高校の魅力発信！



清水高校のある土佐清水市には、足摺宇和海国立公園があります。昭和30年に足摺国立公園として誕生し、宇和海地域や海中公園地区の追加指定を経て、昭和47年に足摺宇和海国立公園となりました。後ろは、国立公園の一部なのですが・・・



総合的な探究の時間等の活動



(上) 子ども食堂参加の様子



総合的な探究の時間や部活動などで地域の福祉、産業、教育、商店街などと連携し、地域での学びを深めています。



こんな頑張る一コマも！

ちよっと coffee break !

クイズ (フェア・ハイブ編)

クイズは、清水高校の生徒が、**今年10月**にフェア・ハイブ姉妹都市交流で「ジョン万祭り」に行った際の感動をクイズにしたものです。フェア・ハイブ姉妹都市交流「ジョン万祭り」とは、**ジョン万次郎とホイットフィールド船長の友情を記念して1987年に「土佐清水市」と「マサチューセッツ州フェアハイブ」が姉妹都市協定を結んだ**ものです。それ以降、土佐清水市とフェア・ハイブを会場に、隔年で「ジョン万祭り」を開催しています。

フェア・ハイブ クイズ-1

(難易度★★★★☆)

<ヒント>
「東京」から「土佐清水」往復の倍ちよっとかな？
日本からフェア・ハイブまで飛行機で何時間かかったでしょうか？

1	6時間
2	10時間
3	14時間
4	16時間

フェア・ハイブ クイズ-2

(難易度★★☆☆☆)

<ヒント>
え〜！ ハンバーガーですよ！本当ですか？
ニューヨークで食べたハンバーガーセットはいくらかかったでしょうか？

1	980円
2	1,500円
3	2,000円
4	3,000円

集まれば ころはればれ 晴れの国 ～「集まる」「話す」の大切さ再発見～

第65回 中国・四国地区PTA連合会大会 岡山大会

令和5年7月14日(金)岡山県倉敷市にある「倉敷市民会開館ホール」において、第65回 中国・四国地区PTA連合会大会 **岡山大会**が開催されました。本県からは、高P連、県教委、各参加校合わせて117名のみなさんで参加することができました。来年は、高知県開催ということもあり、実行委員会を中心となってお手伝いいただき、特に市内の総務部長さんには、高知大会での役割分担に特化し視察をお願いしました。



<塩田校長先生の質問風景>

高知農業高校の塩田校長先生が積極的に質問をしてくれました。

また、県内の高校生のみなさんが、学校で育てた野菜や加工品の販売に協力してくれました。



<生徒の販売風景>

お弁当は、こんな感じです。



次年度の高知大会へのPR風景

閉会式では、ご覧のとおりメンバーで高知大会への参加を、力強く呼びかけてきました。ちなみに、「くろしお君」の着ぐるみの中に入っているのは、高知県教育委員会生涯学習課の松下さんです。大変暑い中、ありがとうございました！



<開会式風景>

令和5年度 第2回 高知県高等学校PTA連合会研修会

期日 令和5年10月21日(土)
会場 「高知会館」
時間 13:30から

参加者 116名(単P、役員、県教委等)

講師①： 高知大学医学部 寄附講座 児童青年期
精神医学 特任教授 高橋 秀俊 氏

演 題：「発達障害の特性への理解に基づく思春期のこころのケア」



高橋 特任教授

講師②： 神戸大学名誉教授 Sachiko Kubota
芦屋学園芦屋大学学長 窪田 幸子 氏
Professor Emeritus of Kobe University;
President of Ashiya University

演 題：「いま、求められる学びとは
—多様性の理解はなぜ大切か—」



窪田 学長



<研修会風景>

研修会は、課題や運営等に関するご意見もいただいたところですが、昨年に続き多くの参加者から大変良い評価をいただきました。また、講演終了後の質疑応答では、活発なご意見や質問をいただき、保護者の中には、「こんなに活発な質疑ができるとは思っていませんでした。」という感想も複数寄せられていました。高P連としては、有難い反応でした。次年度以降も、本会の活動方針に沿って、役員会と情報を共有しながら人選を進めていきたいと思っております。ちなみに、次年度の開催期日は、**令和6年10月19日(土)「高知会館」**での開催を予定していますので、お知らせします。

<質問風景>

紙面の都合上、感想の中から3つご紹介します。
* PTA役員や先生だけに対する講演ではもったいないです。学校の先生にも希望があるという話や、周りの友達には様々な人がいるという話もしてもらいました。
* 高校生に向けて講演してもらいたいです。自分の当たり前が相手にとっては当たり前ではないということが分かっていても、なかなか対応しづらいものですが、まだ、若い子どもたちには対応していけそうだなと思いました。
* 学び多い時間となりました。多様性への理解の大切さが自分の生活レベルに落とし込めて分かりやすかったです。先生のお話を聞いて、勇気をいただきました。

次はあなたです！

<リレー・何でもエッセー>
第72回 全国高P連大会
宮城大会に参加して



8月24日・25日に宮城県仙台市で開催された、高P連全国大会(宮城大会)に**総勢34名**のみなさんで参加しました。仙台市へは、前日入りをしたので、東日本大震災の復興の様子から学ぶことを研修に組み入れました。研修では、松島震災復興クルーズ船に乗り、海上から松島を眺めながら、震災を体験された語り部さんの話を聞くことができました。自身の辛い過去を振り返る物語でしたので、特に衝撃を受けたのは、「**震災後自宅へ帰るのに、歩くしかなく3日かかった**」「**遺体は早く収容しないとカラスに突つかれる**」ということでした。惨事は、テレビや報道等で知っていましたが、体験した人しか言えない言葉を生で聞いたということは、大きな財産となりました。近い将来起こるといわれている南海大地震に対し、一層気を引き締めなければならないと、改めて感じたことでした。

大会では、「**豊かな杜につむぐ虹の光**」～しなやかな強さで**生き抜く力**～をテーマに全体会と6分科会の構成でした。記念講演では、**仙台育英高校野球部監督の須江航氏**でした。



宮城大会の開催前日には、**甲子園**で慶應義塾高校と決勝戦を戦っていた学校の監督です。2-8と敗れはしましたが、苦勞人としての貴重でタイムリーな話が聞けました。**雨天順延ならアウトでした!**最後に、宮城大会において、本県から次の方々並びに学校が表彰されました。

- 祝 清岡 豊氏 (安芸高校PTA)
- 祝 西村 麻理子氏 (橋原高校前PTA)
- 祝 伊野商業高校PTA (学校表彰)
- 祝 四万十高校PTA (学校表彰)
- 祝 川北 康弘氏 (高P連元会長)
- 祝 中村 哲夫氏 (高P連前事務局長)

おめでとうございます！これまでの活動に感謝いたしますとともに、改めて敬意を表します。

高P連事務局 廣瀬 縁